

階段

フォト劇場 (72)

写真が生むものがたり

階段をのぼれば棚に待ちてをり未読の本は翼をたたみ

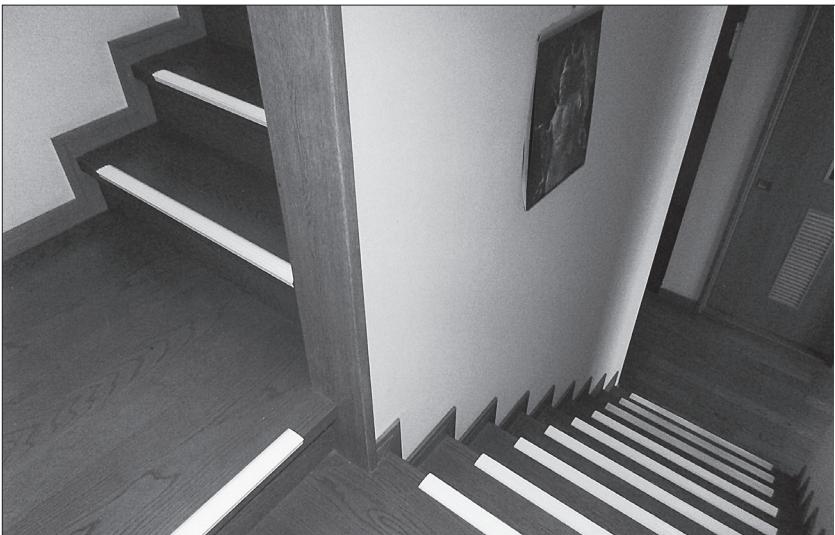
田辺由喜子

少し前まで二階のある家に住んでいた。短歌
関連の本は身近に置き、それ以外は老後？に
ゆづくり読むつもりで二階の書棚に積んでい
た。老後とはいつなのか。短歌との縁しに感
謝しつつ徐々に翼を開いてゆこうと思う。

階段のほとりほのぼの山水を描きし夫の水墨画あり

河村いち子

わが家では常に夫の描いた作品を季節季節に
合った作品に夫が掛け替える。玄関に階段に
居間に。私はただ眺めるだけ、小さな個展を
二度やつてのち心不全、それでも続行。私は
この精神を学ばなければと密かに思う。



むせび泣く人声^{ひとごえ}に似せサツクスは地下階段に「枯葉」を鳴らす

米谷紀代志

階段は鉄製の螺旋階段が佳い。何がな希望が持てる。コンクリートの地下階段はカビ臭く、奈落に墜ちる恐怖感がある。絶望と言つてもよい。上昇志向を持つ者には決して下を向かない方が良い。目線を上げよう。

魔の時は一瞬なりき階段ゆどどと落下す「ああ」の声のみ

武市尋子

何が起きたか考える間も無く上から下まで転がり落ちた。家族はさておき犬も猫も飛び出してきたのには痛いのも忘れ笑つてしまつた。背中に青あざで済んだが老いの日常は、鈍器と凶器と共に存していると認識した。